

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：流産2回、ピルの影響か

37歳の主婦、8年ほど前、1年間ピルを使いました。子どもを産むことを許されず、中絶手術を4回もやった後のことです。再婚して3年、去年の5月と今年の6月の2回流産しましたが、いずれも3.5ヶ月くらいでした。2回ともホルモン数がとても少なく3000~4000ということでしたが、ピル使用と関係があるでしょうか。私は高齢でもあるし、子どもは望めないでしょうか。

(新潟市・M子)

A：心配せず専門医の指導を

8年前のピルの服用と、今回2回の流産との因果関係はないと思います。ある臨床報告によると、ピル服用中止後に、妊娠を希望した人の75%は中止後3周期以内に、90%は1年以内に妊娠しています。

しかし、妊娠したいときに妊娠できない人がいることも確かです。ピルを服用した後で妊娠できなくなったと訴える女性をよく検討すると、かなりの数が、ピルを服用しなくても、もともと不妊の婦人であることが多く、服用を中止した後、不妊になる原因の一つは、排卵の欠如です。このような排卵障害は、ピルを服用する女性にも服用しない女性にもみられます。したがって、あなたの場合、ピルを服用したことを悩む必要はありません。

また、中絶を4回繰り返したということですが、今回の流産が妊娠初期であり、2回ともホルモン値が低値を示していることを考えると、4回の中絶が流産の原因と直接関係していると考えする必要はないと思います。

37歳という年齢も、去年と今年流産とはいえ妊娠したわけですから、他の不妊症で悩む人に比べれば、子どもに恵まれるチャンスはあると考えるべきです。すでに基礎体温を記録されていれば、その記録をもって、記録されていない場合には、今から1ないし2周期の基礎体温を記録されてから産婦人科専門医と相談することがよいと思います。適切な指導がなされると思います。